

がんと共に生きる。

NPO法人がんと共に生きる会 2014年度公開講座



がんの骨転移は、他の臓器に転移することと比べて生命に直接関わらないので軽視されがちです。がん患者がQOL(生活の質)を高く保ちながら生活していくには、骨転移を適切にコントロールして、骨折や麻痺などの重篤な症状をできるだけ避けなければなりません。そのためには、患者も骨転移への知識を深めていくことが重要です。

この公開講座では、来場者ががんの骨転移について理解を深め、自身や家族の療養生活に役立てて頂くことを目的とし、また、骨転移をひとつの題材として、より良い治療やケアに欠かせない「チーム医療」の在り方についても議論を深めていきたいと考えています。



知っておきたい骨転移。 診療の現状と課題

日時 平成26年2月8日(土) 13:00~16:00 12:30開場

会場 アサコムホール

大阪市北区中之島2-3-18 朝日新聞大阪本社内
(中之島フェスティバルタワー12階)

定員 / 200名
参加費 / 無料



プログラム(都合により時間が前後することがあります。)

13:00	開演・ご挨拶	大阪府立成人病センター病院長 左近 賢人氏
13:15	講演 こつこつ学ぶ骨転移 自由に動ける体を守るために	講師 大阪府立成人病センター 整形外科副部長 橋本 伸之氏
14:15	小憩(講師への質問記入・回収)	
14:30	骨転移診療の現状と課題	大阪府立成人病センター、チーム医療では 乳腺内分泌外科:主任部長 玉木 康博氏 呼吸器内科:診療主任 奥山 貴子氏 放射線治療科:主任部長 手島 昭樹氏 心療・緩和科:副部長 濱 卓至氏

※ロビーにインフォメーションデスクを設置。

がん情報サイト『大阪がんえナビ』体験コーナーの開設、書籍頒布や患者会資料の配布などを行います。

主催 / NPO 法人がんと共に生きる会

共催 / 公益財団法人大阪対がん協会、大阪がんえナビ制作委員会

後援 / 大阪府、朝日新聞社、産経新聞社、毎日新聞社、吹田ホスピス市民塾



NPO法人
がんと共に生きる会